

岩手教区報

第359号
 立教185年11月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



女子青年大会に向けて 舟生つばさ

委員長というお役を頂いてから、早くも2年が経とうとしています。これまで岩手教区女子青年の活動に参加していませんでした。お話を頂いた時は、自分のできるのだろうか、とても不安でした。しかし、仕事の忙しさなどを理由に、お道に関わる機会が減っていると思っていたので、親神様が引き寄せて下さったのだと考え、委員長を受けさせて頂くことにしました。いざ活動を始めてみると、様々な壁に突き当たりました。広大な岩手では、移動するのも大変ですし、新型コロナウイルス感染症の影響もありましたので、例年女子青年さんに会う機会にも恵まれません。これといった行事もできない日々が過ぎていきました。だんだんと心も沈みかけてきたのですが、教区婦人会の女子青年担当者の皆さんが優しく支えて下さり、明るく励まして頂いたおかげで、どうにかここまでやってこれたと思います。

女子青年大会を11月にひかえ、このまま集まれないままでは好ましくないと、今年の8月から9月にかけて、各支部ごとで親睦会を実施しました。それぞれの支部にいる女子青年さんや担当者の皆さんと出会う、仲間がいることを実感した良い時間となりました。

今回の親睦会を通して、実際にお会いした女子青年さんは限られていましたが、女子青年活動の第一歩になったと思っています。私自身、まだ女子青年の仲間にはほとんど会えていない状態なので、早く皆さんと会えることを願っています。

来たる11月27日、『教えを学び 教祖にお喜びいただける日々を感謝の心をおおげにならう』をテーマに、「第30回女子青年大会」が親里で開催されます。この大会に向けて岩手教区女子青年では、バス団参を実施することになりました。

女子青年という、いろいろなことを吸収することのできる時期に、おちばに帰らせていただくことは当たり前ではないことで、とてもありがたく貴重な機会だと思います。一人でも多くの女子青年さんと一緒に、おちばがえりが出来たらいいなと思います。

委員長である私や女子青年担当者からも、どんどん声掛けさせて頂きませんが、是非とも教区の皆様のお力もお借りしたいと存じます。

大会までの残り期間を、精一杯頑張りたいと思いますので、お近くの女子青年へのお声掛けを何卒お願い致します。



「幸せへの道」

人は皆、幸せを求め、日々人生を歩み続けています。しかし、現実に幸せな毎日を送っているといえる人は、どれだけ居られるでしょうか。

教祖はある時「家蔵立派に建てつらね、何も心配なからうと外から見えても、胸三寸尋ねてみよ。不足のない者は一人もない」とお聞かせ下さいました。

「無い世界、無い人間を創りだすから今日まで神は、この世を治め、人間を導いてきたけれども、十のものを九つまで教えてあるが、あと一つを教えていない。その一つの理というは、我が思うことが思うようにならないという、歎きくどいっている。そこで自由自在という理を教える。その一つの理を教えたさに天降ったのや」。その一つとは何か。それは人間が陽気ぐらしのできる道であります。ある日、教祖は飯降伊蔵先生に「人間

の心を直すことは難しいことや。世の中が変わっても、人間の心が変わらなければ、陽気ぐらしはできやせん」とお話し下さいました。

ある信者が全身のクサを救けられて、お札に詣られた時、教祖は「クサが治るぐらい当たり前のことや。神さんは病気を治すことなんか、一寸も考えて居らんで。人間の心を治したいのや」とお諭し下されたと言います。

幸せへの道は、心の立て替え、切り替えからと教えられています。その心とは、自分中心の心から神様中心の思召の心へ変わる事です。また、自分中心の心とは、ほこりの心の積もり重なったもの、つまりいんねん(因縁)であり、したがっていんねんを切る信仰が幸せへつながる道であり、大切な信仰実践であります。

またある時、教祖は高弟の先生に「徳の花は後で咲かすようにせよ。この道はいんねんを切ることが先や。針の鋸で竹やぶを耕すような道を歩んでくれ」とお聞かせ下さいました。

お道を信仰して良かった、有り難かつた、ご守護頂くことを目的として信心するのでなく、まず自分のいんねんを自覚し、その納消の道に努力するのが天理教者の信仰であることを教えられているのでしよう。

「みおしえ学習会」開催報告(10月分)

- 九戸 2日(日) 中野濱分教会 26名
〔ファシリテーター 桐山 太司〕
- 盛岡 2日(日) 教務支庁 6名
〔ファシリテーター 堀口 教之〕
- 県南 2日(日) 千厩分教会 21名
〔ファシリテーター 相澤 元〕

「みおしえ学習会」開催予定(11月分)

- 二戸 23日(水・祝) 荒澤分教会 13時30分
〔ファシリテーター 滝浦 剛〕

行事予定 11月分

- 1日 役員会(10時)
- 6日 わかぎの集い(10時30分)
- 12日 青年会例会(19時)
- 13日 学生担当委員会例会(19時30分)
- 13日 高校生の集い「まなびば」(10時)
- 13日 健康感謝ボウリング大会(10時)
- 16日 女子青年例会(10時)
- 16日 岩手教区社友研修会(14時30分)
- 17日 災救隊支部幹部研修会(10時)
- 19日 道の教職員の集い役員会(10時)
- 20日 広報部編集会議(18時)
- 20日 女子青年例会(10時)
- 27日 少年会例会(12時)
- 30日 婦人会例会(10時) 主事会(15時)

高校生の集い「まなびば」

期日 11月13日(日) 10時～15時
 対象 高校生、大学生、
 専門学校生、中学生
 内容 グループワーク・昼食
 参加費 500円(昼食含む)

「道の学生ひのきしんデー」報告

教区学生会では、去る9月18日(日)、道の学生ひのきしんデーを開催し、学生2人、育成会員3人が参加した。盛岡城跡公園及び大通り商店街でごみ拾いを行い、昼食後解散となった。

崎山陽平教区学生会委員長は「次回からは、もっと多くの学生に参加してもらえるように、声を掛けていきたい」と今後の抱負を語った。



立教 185年 「全教一齊にをいがけデー」



～県内各地で心一つに実動～

提唱90周年の節目を迎えた今年には「身近な人へ御教えを伝えよう」をテーマに県内各地で、戸別訪問や路傍講演に勤しむ教友の姿が見られるなど、感染防止対策を講じたうえで、一人ひとりが自分にできることを考え、心一つに実動した。



第30回 **女子青年大会**

11月27日(日) 午前10時 本部中庭

立教185年 2022年 11月27日(日) 式典 ▶ 午前10時 本部中庭

支那のつばい 別席

教えを学び 教祖にお喜びいただける日々を
 ～感謝の心をもちばにつなごう～

「第30回女子青年大会」 【11月27日】

11月27日10時より本部中庭において、第30回女子青年大会が開催されます。この大会に向けて、11月25日から28日にかけて、バス団参をさせて頂きます。一人でも多くの女子青年さんのご参加をお待ちしています。

日程 11月25日(金)～28日(月)
 募集 20人
 費用 21000円
 泊 城山詰所
 問合せ 舟生つばさ委員長、または高橋啓子女子青年担当者迄。
 ※詳細は募集チラシをご覧ください。



婦人會

計報

佐々木 ミヨ子 「93歳」
 奥州支部・東金ヶ崎分教会前会長夫人
 令和4年9月27日出直された。

関田 照代 「71歳」
 盛岡支部・花盛分教会会長夫人
 令和4年10月1日出直された。

「健康感謝ボウリング大会」 【11月13日】

岩手教区青年会では、延期になっていたソフトボール大会の代替として、健康感謝ボウリング大会を左記のように、開催します。一人でも多くご参加下さいますようお願い致します。

日程 11月13日(日) 10時～12時
 会場 ラウンドワン盛岡店
 参加費 無料
 参加申込 村松委員長(080-5553-3160)



青年會



「学生層育成者講習会」報告

茶谷講師は、ご自身の体験から、学生層育成の大切さを強調され、特に教会長や学生層育成に携わる方々が、如何に学生に関わるかによって、その後に大きな実を与えていただけたと思う、と話された。

続いての教区学生担当委員との懇談会では、学生に関する上での心構えなど、忌憚のない意見交換を行うなど、意義深い講習会となった。



茶谷良佐講師
 教区学生担当委員会では、去る10月1日(土)、茶谷良佐・学生担当委員会前委員長(泉大教会長)を講師に、学生層育成者講習会を開催し、23人が受講した。



学生担当委員会